

平成 2 6 年 度 第 2 回

八王子市スポーツ推進審議会会議録

日 時 平成 2 7 年 3 月 1 0 日 (火) 午後 7 時
場 所 八王子市役所本庁舎 8 階 802 会議室

第2回スポーツ推進審議会日程

- 1 日 時 平成27年3月10日(火)午後7時
- 2 場 所 八王子市役所本庁舎8階802会議室
- 3 報告事項
 - (1) 平成27年度予算(スポーツ関係)について
 - ア. スポーツ振興課予算案
 - イ. スポーツ施設管理課予算案
 - (2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技会場の誘致について
 - (3) スポーツ推進計画進捗状況について
 - ア. スポーツ施設の整備・充実
 - イ. 障害者スポーツの推進
 - ウ. 地域スポーツクラブの支援
 - エ. ジュニア育成
 - オ. 陣馬・高尾縦走競走大会
- 4 その他
- 5 閉 会

八王子市スポーツ推進審議会委員

市内スポーツ関係	平岡孝子
	澤本則男
	立川富美代
	塩澤迪夫
	藤木寿勝
	前原教久
	姥貝莊一
学校体育関係	神成真一
	斎藤秀昭
学識経験	浪越一喜
	梅澤秋久
公 募	林 廣子
	糸田孝子
関係行政機関	天野克己
事務局	立川寛之
	橋本 徹
	染谷 勇
	野村泰史
	古川元三

【午後7時00分開会】

○浪越会長 ただいまから、平成27年度第2回の八王子市スポーツ推進審議会を開会いたします。
ただいまの出席委員数は、13名となっております。前田委員からは、欠席の連絡がありました。

条例第5条第2項の規定による定足数には達しておりますので、本審議会は有効に成立しております。

本日の進行は、お手元に配付の進行表のとおりですが、報告事項のみとなっております。

それでは、(1)平成27年度予算(スポーツ関係)について
事務局から説明願います。

○事務局 それでは、平成27年度予算について説明させていただきます。

資料1ページをご覧ください。この資料は、スポーツ関係のソフト事業をメインに所管するスポーツ振興課の平成27年度歳出予算案をまとめたものです。

なお、スポーツ施設管理課予算案につきましては、後ほど橋本館長から説明いたします。

表のつくりとしましては、左側から事業番号と事業名、次に27年度26年度予算額とその対比、次に事業概要、最後、備考欄に各事業の特徴を記載しています。

一番下から二番目の合計欄をご覧ください。

スポーツ振興課予算については、27年度予算3,388万円、26年度予算3,679万5千円から291万5千円の減となっております。前年度比減の主な要因としましては、事業番号3のスポーツ推進委員活動に伴う委嘱人数の減、それから事業番号18のジュニア育成事業に伴う一般財源の減額が挙げられます。

続きまして、事業番号19をご覧ください。夢街道駅伝負担金の増額ですが、こちらはアベノミクス物価上昇に伴う警備委託人件費等の高騰によるものでございます。

最後に本審議会の27年度の予算についてですが、事業番号2をご覧ください。備考欄に示しておりますとおり、定例会2回分を計上しております。

スポーツ振興課の予算についての説明は以上です。

○浪越会長 それでは、続いてスポーツ施設管理課の予算について説明願います。

○事務局 それでは、スポーツ施設管理課の予算について説明します。

別紙2の1番の校庭夜間開放だが、27年度から、小中高生も使えることにした。ジュニア育成という利用者からの要望があったことと、大人の利用が戸吹スポーツ公園の利用に移り、学校開放の利用が減ったという点はその理由である。

18番の富士森公園テニスコート整備については、傷みが激しいので全面改修し、さらに1面増やし、6面とする。6面ともナイター利用が可能である。6月から工事に着手したい。

19番の戸吹スポーツ公園トイレ整備については、サッカー場にトイレを付けることにより、施設ごとにトイレが付いた。

20番の上柚木公園テニスコート改修については、一昨年かなり大々的に改修したが、利用率が高いのでそろそろ改修が必要であろうということで、今年度設計をし、28年度に全面改修をしようということで、設計費を計上した。

次頁の体育館関係だが、現在、市民体育館が改修中ということで、管理経費が減っている。

甲の原体育館については、現状どおりの運営となる。

新体育館については、施設が完成したので建設費の部分が減になっている。

改修中の市民体育館については、大規模改修と耐震工事を行うということで、16億円ほど計上している。

スポーツ施設管理課の予算についての説明は以上です。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。平成27年度予算について、御質問等がございますか。

○委員 富士森テニスコートはいつまで使えなくなるのか。

○事務局 これから契約だが、12月いっぱいか1月いっぱい位までである。

○浪越会長 それでは、次に「2.(2)2020年東京オリンピック・パラリンピック自転車競技会場の誘致について」事務局より報告をお願いします。

○事務局 別紙3をご覧ください。昨年11月26日の教育委員会定例会で意思決定したものである。昨年3月策定の「八王子市スポーツ推進計画」の基本施策5で「2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて」を掲げ、「観る・する・支える」3つの観点から取り組みを行う。支えるということについては、事前合宿の誘致をすること、ナショナル・トレーニングセンターのランチ機能を誘致する。

まず、事前合宿の誘致については、市内のスポーツ施設をアンケート調査し、規格について一覧表をつくり、また、市内の有力な宿泊所（ホテル）についてもアンケート調査し一覧表をつくり、東京都に提出した。すでに、いくつかの国から打診を受けている。

二つ目のナショナルトレーニングセンターについては、核となる施設は北区の味の素トレーニングセンターだが、国内に25の競技別強化拠点があるが、本市の自然が豊かであるという

特徴を活かし、マウンテンバイクとバイシクルモトクロスの練習場を整備し、ナショナルトレーニングセンターの指定を受けるという構想で現状進んでいる。

オリンピック誘致の際は、選手村を中心に半径8km圏内で85%の競技を行うということであったが、昨年6月に舛添知事はその原則を外し、50km1時間圏内なら、競技会場候補として考えるという発言があった。本市については、50km、高速道路を使えば1時間で到達できるので、ナショナルトレーニングセンターにとどまらず、競技会場の誘致の可能性が出てきた。庁内で検討を重ねた結果、昨年12月24日に組織委員会に対して競技会場誘致要望書を提出し、2月18日に追加要望をした。2月上旬に組織委員会の森会長から記者会見で、伊豆の修禅寺でトラック競技を含めた自転車競技3種目すべてを行う案が有力であるという発言があったので、本市も、当初の2種目に加え、トラックレースを含めた3種目の誘致をしていくという追加要望をした次第である。

カラー刷りのパンフレットについては、組織委員会をはじめ、日本自転車競技連盟、関係機関にはすべて配り、本市の魅力を訴えながら、可能性は低いかもしれないが、誘致を勝ち取るということで、全庁的に取り組んでいる。

下段にある今後のスケジュールについては、6月のIOC総会で競技会場について発表されると聞いている。合宿誘致については、4月1日以降、組織委員会が作成するホームページの中で、各自治体が個々にスポーツ施設の状況を入力して行き、8月にリオデジャネイロ大会の合宿地ガイドを公表する。以降は平成30年まで合宿地ガイドの追加登録ができることになる。その間外国からのオファーがあれば、各自治体で国と協議しながら、合宿の協定を締結してゆくことになる。

次頁以降は、今回の決定に至った経緯をまとめたものである。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

御質問等はございますか。

○委員 立川の競輪場を借りて、高校生が自転車競技の練習をしていると聞いているが。

○事務局 競輪は400m、自転車競技は250mでトラックの規格が違う。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「(3) スポーツ推進計画進捗状況」の「ア. スポーツ施設の整備・充実について」、事務局から報告願います。

○事務局 別紙4をご覧ください。市民体育館の耐震補強工事及び大規模改修工事について、5頁中頃に記載してある実施事項のとおり行います。6番目の駐車場については、線を引き直し駐車台数を増やす。軽自動車の利用は25～30%あるので、軽自動車の駐車スペースを狭くし、全体の駐車台数を16～7台増やす。入口近く、市民体育館の近くを軽自動車用スペースにする。図面の南側駐車場と書いてある三角形の部分に車止めがあるが、取り払って、大会役員など最後まで止めて置く車用の駐車場にする。ここに4～5台置けるようになる。

内部については、使われていないサウナ室等を第3、4トレーニング室にすることでトレーニング室を拡張する。

エレベーターについては、現在の「みんなの部屋」に設置し、バリアフリー化する。

要望の多かったトイレの洋式化については、一部を除きすべて洋式化する。

第2・3・4の競技場については、従前の形にする。

「みんなの部屋」の厨房の部分を倉庫にし、応接室を「赤ちゃん・ふらっと」にする。

空調機の室外機は、事務室の屋根の上にのせる。説明は以上です。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

御質問等がございますか。

○委員 駐車場について、慰霊塔のところの話はどうなっているのか。

○事務局 公園整備の中で検討中である。慰霊塔の西側半分の部分を駐車場にすることで検討を進めている。

○委員 どれくらい置けるようになるのか。

○事務局 50台位である。

○委員 第2・第3・第4競技場が卓球場・剣道場・柔道場となっているが、従前はそうなっていなかったと思うが。

○事務局 今まで通り多目的であり、今までと基本的に変わらない。図面を直します。

○委員 屋根の形はあのままか。

○事務局 主競技場の屋根については、今のものに蓋をするような形となる。

○委員 運営の形態はどうするか。

○事務局 指定管理にしたいが、行革推進課で市全体の指定管理のあり方について検討しているの、その判断を待って決定する。

○委員 駐車場の有料化については。

○事務局 今のところ考えていない。有料化するなら、富士森公園全体で考えていくべきと考える。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「イ. 障害者スポーツの推進」、「ウ. 地域スポーツクラブの支援」、「エ. ジュニア育成」について一括して事務局から報告願います。

○事務局 それでは、イ. 障害者スポーツの推進について説明させていただきます。
資料9ページをご覧ください。

本市スポーツ推進計画の「基本施策1. ライフステージ等に応じたスポーツの推進」の中で障害者スポーツを掲げておりますが、26年度に取り組んだ内容について、説明いたします。

26年度につきましては、障害者スポーツへの理解と指導者育成ということから本市スポーツ推進委員を対象に2回、障害者スポーツに係る実技研修を実施しております。

1回目につきましては、昨年9月16日に市民体育館分館競技場にて3種目、スポーツ吹矢、シッティングバレーボール、手のひらバレーボールを実施しています。

2回目につきましては、今年1月20日に同じく市民体育館分館競技場にて2種目、フライングディスク、卓球バレーを実施しております。

参考としまして、今回実施しました種目の概要を掲載しておりますので後ほどご覧いただければと思います。

また、本事業以外にも例年10月に障害者と健常者が一緒に行います「ふれあい運動会」にもボランティアとして運営に携わるほか、障害者スポーツ指導の基礎的知識・技術を習得するために東京都障害者スポーツ協会が開催する「初級障害者スポーツ指導員養成講習会」に4名が受講し、資格を取得しております。

今後も障害者スポーツの知識・技術の習得に努め、障害のある方がスポーツに親しみ、生活の質が向上できるよう、推進していきたいと考えております。

説明は以上です。

それでは、ウ、地域スポーツクラブの支援について説明させていただきます。

資料1 1 ページをご覧ください。

本市スポーツ推進計画の「基本施策4. スポーツを活用した地域づくりと八王子の魅力発信」の中で地域スポーツクラブの支援を掲げておりますが、26年度に取り組んだ内容について、説明いたします。

昨年度3月に「総合型地域スポーツクラブ意見交換会」を開催し、議題の中で連絡組織の設立について協議したところ、総合型クラブ間の情報交換や連携の必要性から設立する方向で確認しておりました。

そこで資料(ウ)にありますとおり今年度平成26年7月24日に第1回の意見交換会を開催し、その中で事務局から連携に係る組織案をたたき台として、提案し、議論しましたが、クラブによりかなり考え方の温度差があり、組織化については、まだ早いという結論になりました。

続きまして、平成27年1月29日に第2回の意見交換会を実施しておりますが、この時はクラブ間の情報交換に留まった内容になっております。

27年度につきましては、意見交換会のスパンを短く開催し、情報交換や連携を進めて行き、将来的に組織化も検討して行きたいと考えております。

説明は、以上です。

それでは、エ、ジュニア育成事業について説明させていただきます。

資料1 2 ページをご覧ください。

本市スポーツ推進計画の「基本施策5. 2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて」の中でジュニア期におけるアスリート支援を掲げておりますが、26年度に取り組んだ内容について、説明いたします。

まず、事業内容についてですが、12ページにある実施報告をご覧ください。これまでも東京市長会の多摩島しょスポーツ振興事業200万円の助成金を活用して、ミズノ(株)に委託するかたちで平成24年度はバレーボール・卓球、25年度はサッカー・走り方教室を開催してきましたが、26年度は例年実施している多摩島しょスポーツ振興事業助成金を活用し、26年11月9日にエスフォルタアリーナにてバレーボール教室及びフットサル教室を開催いたしました。

また、26年度財政所管から措置された予算200万円で新たにバドミントン教室、ヘキサスロン、バスケットボール教室を実施しました。中でもバスケットボール教室については、本市を活動拠点に活動しているトレインズのダワン選手を講師に迎え、本場アメリカ仕込みのメニューで連続講座を実施しました。

27年度につきましては、さらに連続講座を増やしていき、ジュニア育成事業をさらに充実させていきたいと考えております。

説明は以上です。

○浪越会長 事務局の説明は終わりました。

御質問等はございますか。

○委員 障害者スポーツに係る実技研修だが、スポーツ推進委員だけでなく、もう少し窓口を広げて実施できるか。そのほうが取り組み安くなると思うが。

地域スポーツクラブの支援についてだが、クラブ数は増えているか。増えていないならやり方を検討した方がよいと思う。

○事務局 一つ目はスポーツ推進委員の年4回の研修に組み込んだものだが、障害者スポーツセンターでは要請があれば、指導員の派遣をしてくれるので、各クラブごとあるいは各クラブから数名ずつを選び、まとめて研修を受けることは可能です。前向きに検討してもらえればと考えます。

二つ目については現在19団体だが、3団体ほど設立の動きがある。すでに活動しているが総合型として登録していないところもある。近い将来1～2団体増加の見込みである。

○浪越会長 総合型スポーツクラブから要望があればということでは、ここだけの話で終わってしまう。総合型で障害者をどう受け入れるかが話題となっている中では、市側から積極的に働きかけてほしい。

他にいかがでしょうか。

○委員 ジュニア育成については予算の減額ではなく、少しずつ増やし2020年に充実するような形をとってもらいたい。

○事務局 予算の減額は縮小感があるが、今年度の予算は別紙7のとおり大きく2つに分かれている。

ひとつは、ミズノ（株）による1回で終わってしまうものと、もうひとつは地域に根差した形で活動している、法政クラブをはじめとした総合的地域スポーツクラブにお願いして、オリジナルのカリキュラムで連続的な講座で行って行くもので、今年度は実験的な取り組みをしている。

効果という点では、地域スポーツクラブをベースに、連続して子どもたちに向き合った形で行う方が、より効果的と考え、27年度についてはイベント的要素を払拭し、地に足の着いた形でジュニア育成をして行くため、見かけ上は減額のような形になっている。

もうひとつは、主な取り組みとしてアスリートの育成とあるが、国・都・市にそれぞれ役割分担がある。都道府県・市町村は地域に近い特性を生かし、トップアスリートに通じる道を開

くこと、人材の発掘に近いことが役割と考えている。まずはスポーツに興味を持ってもらい、目前でトップアスリートのプレーを見ることにより、また直接指導を受けることによりモチベーションを高めてもらい、国や都の施策につなげて行くことが、市としての役割と考えている。

今後5年を見据えては、事前キャンプの誘致が実現するならば、ジュニアとの交流も考えられる。新しい試みを加えながら、市の役割を果たして行きたい。

○浪越会長 ありがとうございます。

それでは次に「オ. 陣馬・高尾縦走競走大会」について、事務局から報告願います。

○事務局 別紙8をご覧ください。昨年3月策定の「八王子市スポーツ推進計画」の基本施策（4）に八王子の特性を生かしたスポーツイベントの開催と定められていますが、「豊かな自然」を八王子のスポーツ資源ととらえ、本市がアウトドアスポーツの聖地と呼ばれることを目指したい。こういった中で、新聞等でも話題になっている、山中を駆け巡るトレイルランニングを実施しようと考えている。

3月にリリースされる東京都の「自然公園の利用ルール」はランナーだけでなく、ハイカー、自転車での入場者、一般の観光客に対しても等しくマナーを守ろうということになっている。

先月、環境省も国立公園内での「トレランのあり方について」という指針をリリースしたが、国・都に共通するのは、「環境保護と利用を両立させる」ということが基本理念である。

環境に負荷をかけないことは勿論であるが、利用者としてのランナーも認めて行こうということで、東京都のリリースに合わせて、この大会を八王子市として企画した。利用ルールをキッチリと守った模範的な大会にして行くために東京都と調整中である。

○浪越会長 御質問があれば、お願いします。

○委 員 モデルコースの実踏はしているか。時間はどれくらいかかったか。

○事務局 実際に走っている。6時間かかった。東京トレランシリーズのチャンピオンは4時間で試走した。優勝タイムは3時間40分位になると思う。

○委 員 厳しいコースか。青年でないと無理か。

○事務局 相当厳しいコースではあるが、必ずしも、そうとは言えない。若い人を凌ぐ50代・60代の方の参加が見込めるのではないかと思う。

○委員 大会の管理・運営はどうか。

○事務局 市主催だが、一部市外のトライアスロン連合にも頼むが、体協関係では八王子トライアスロン連合にも手伝ってもらおう予定である。

○委員 長く続けるためには、しっかりした管理・運営体制をとってもらいたい。山の中の事故にも対応できる管理・運営をしてもらいたい。

○事務局 大会運営側がどれだけの体制を取れるかが、一番重要な要素である。一般のボランティアではなく、山を一定程度走れる人にスタッフに入ってもらいたい。選手の安全を第一に考えた調整を行っている。

○委員 大会の規模はどれ位になるか。

○事務局 1,000人までと考えている。

○委員 山登りが好きでよく出かけている。大会自体はしっかり運営されると思うが、個人練習もある。大会では自然公園の利用ルールも守られると思うが、個人的な練習の中では様々な無理な状況が出てくる。そういう中での利用ルールを決めてほしい。

○事務局 大会のための利用ルールではなく、日常的な利用ルールとして定めている。そのルールの存在を、大会を通じて知らしめて行きたい。大会でルールを厳格に守ることにより、マナーのよいランナーを増やして行きたいということで大会を企画している。

○委員 この大会に啓蒙活動的な意味があるのか。

○事務局 残念ながら、強引な運営をする大会もある。現状では禁止することも難しいので、正しいものを増やし、悪質なものを淘汰して行きたい。時間はかかるがその方向を目指して行く。

○浪越会長 他になければ、本件については終了する。
最後に、その他で何かあれば。

○事務局 予算のところの説明漏れがあった。運動施設の予約システムの再構築作業中で

あるが、早ければ4月半ば、遅くとも6月にはスマートフォン・携帯電話から予約が可能になる。

○浪越会長 以上で本日の案件は全て終了しました。

○浪越会長 それでは、次回の審議会についてですが、日程は事務局と調整し、皆様には後日通知いたします。

以上で、本日のスポーツ推進審議会を閉会いたします。ありがとうございました。

【午後8時6分閉会】

上記会議録は事実と相違するところがないことを認め、下に署名する。

八王子市スポーツ推進審議会会長

八王子市スポーツ推進審議会委員